

## ♡ 20代~30代のカラー

20代以上がターゲットになると、自分の好みが定まってきた年代なので、個人個人で気に入る色も分かれてくるようになります。ただし、ファッション雑誌や広告を見ると、全体的には色や彩度の区別がなくカラフルなものが多く、ポップで明るいデザインが受け入れられやすいといえるでしょう。奇抜で個性的な色の組み合わせを視覚的に問題なく受け入れられるのもこの年代の特徴だと思います。さらにチャレンジングな色使いも比較的容易に受け取ることが出来る世代のため、ビビッドな色味を活用して受け手に印象付けるのも面白いと思います。



## ♡ 30代~40代のカラー

30代からは派手さや華やかさを落ちつかせたキレイで爽やか、もしくは落ち着いたトーンの色合いが好まれるようになります。そのため、沢山の色を使うよりかは、ワンポイントに色を使うパターンがいい可能性もあります。爽やかかつ上品なデザインが好まれるようになりますが、ニュアンスカラーが好まれやすいのもこの年代の特徴です。



## ♡ 40代~50代のカラー

40代以上をターゲットにするようになると、エレガントさや高級感、知性を感じる色が求められるようになります。カジュアルなものでも、どこかに落ち着いた高級感が必要になることが多いのはそのためです。また視覚的にも「分かりやすい色分け」が重要視されるようになります。男性の場合は比較的大胆な色味を文字色など効果的に使う事は可能ですが、女性の場合は敬遠されることもあるかもしれません。相対的に考えるとこの年代にはやはり落ち着いている色味良く、使い方を工夫しましょう。



## フォントのスタイリング

フォントは世界観を演出する要素として大事な素材になります。様々な種類のフォントがある中で、ターゲット層や理想のブランドとして見せたい世界観に合わせて適切に選びましょう。カラーと同じで答えはひとつではありません。流行りのフォントもいいですし、時には気分を変更することも必要です。

ブランドフォントとして決めておいたほうが良いもの

ブランドスタイリングでは下記のフォントを決める

欧文フォント  
雰囲気フォント  
和文フォント①  
和文フォント②  
セリフ用フォント

① 欧文フォント  
② 雰囲気フォント  
③ 和文フォント①  
④ 和文フォント②

※世界観や選ぶフォントによって数は増減する。

例

• 欧文フォント	Design Academy
• 雰囲気フォント	<i>Design Academy</i>
• 和文フォント①	デザインアカデミー
• 和文フォント②	デザインアカデミー
• セリフ用フォント	デザインアカデミー

## フォントの種類

和文フォント

ゴシック体・明朝体・ポップ体

和文フォントは大きく、ゴシック体と明朝体、ポップ書体に分けられます。ゴシック体は文章として読みやすく、ベーシックなフォントです。明朝体はエレガントで高級感があり、情緒的に訴えたい時にも使います。

ゴシック体

明朝体

ポップ書体

欧文フォント

サンセリフ・セリフ・スク립ト

欧文フォントはサンセリフ（Sans-Serif）とセリフ（Serif）に分けられます。和文書体で言うゴシック体がサンセリフ、明朝体がセリフに当てはまります。

Sans-Serif font

Serif font

Script

大人かわいいデザインでも人気の書体で、手書きで流れるような筆跡をスク립ト書体と言います。スク립ト書体の中でもフォーマルなものは別名、カリグラフィーとも言われています。